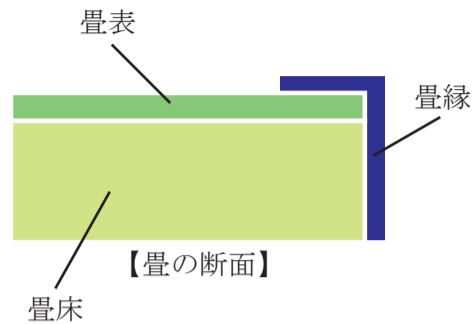


畳を長持ちさせる知恵

◆ 畳の構造

畳は、畳の土台となる部分（畳床）に表面に見える部分（畳表）を重ね、畳縁を縫い付けて出来ています。



色々な畳床

- ワラ床・・・・・・・・ワラのみで作られた畳床。調湿性能にや耐久性、弾力性に優れています。
- ワラサンド床・・・・・・・・ワラでポリスチレンフォームなどを挟み込んだ畳床。感触はワラに近く、断熱性に優れています。
- 建材畳床・・・・・・・・ワラを一切使用しない畳床。ポリスチレンフォームやインシュレーションボードで出来ています。軽量で低コスト、湿気に強く、断熱性に優れています。

◆ 畳を長持ちさせるには

畳を長持ちさせるうえで一番大切なのは、お部屋の風通しを良くする事です。畳は湿気に弱いので、日頃から換気を意識し、お天気の良い日には窓を開けましょう。梅雨時期には、窓を開けずに除湿を心がけてください。畳の上に絨毯やカーペットを敷くと通気性が悪くなるので、敷かない方が長持ちさせる事ができます。



◆ 日常のお手入れ

- ①掃除機・・・・・・・・畳の目に沿ってゆっくり往復。2～3日に1回が目安。
- ②拭き掃除・・・・・・・・乾いた布で畳の目に沿って拭きます。2～3ヶ月に1回が目安。
- ③畳干し・・・・・・・・床下の換気のためマイナスイオンライバーなどを使って畳をはずし畳ごと干します。畳表は日光に当てず、畳床を日光に向けます。1年に1～2回（2～3時間）が目安。

◆ 交換時期の目安

- 裏返し・・・・・・・・畳表のい草の種類により変わりますが、5年位が目安。角が弱くなったり穴が開いてしまうと出来ない。
- 表替え・・・・・・・・畳表が擦り減り、服にい草が付くようになったら表替えの時期。部屋の使用の仕方により異なるため年数の目安は無い。